

こども学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	11	英語Ⅰ
1年	45～46	基礎演習Ⅰ
2年	51	カリキュラム変更に伴う読替対応表
2年	56	音楽演習Ⅲ
	111	実務経験を有する教員一覧

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-02				
	●									
科目名	英語 I				単位認定者	高城 翔平		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内 課題等	40 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	日常会話や専攻分野の仕事・職場で頻りに用いられる基本表現を「話し」・「聞く」ことができる力を養い、基礎的な英語コミュニケーション能力を修得する。									
到達目標	1. 基礎的な英語コミュニケーション能力を用いて「話し」・「聞く」ことができる。 2. 保育現場で求められる異文化間コミュニケーションのため異文化の知識を身につけ、説明できる。									
学修者への期待等	グループワークを中心とするため、受け身ではなく積極的に活動することを期待する。事前にテキストに目を通し、各回のトピックについて話せることを日本語でもよいので考えておくこと。テキスト、辞書、ノートを必ず持参すること。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業ガイダンス【遠隔授業(オンデマンド)】 授業概要と受講上の留意点の説明、グループ作成等を行う。				シラバスに目を通し、この授業を通して身につけたい英語の能力を考えておくこと。自己紹介をする用意しておくこと。(概ね1時間)					
2	Chapter 1 世界の結婚式 Weddings in the world				テキストに目を通し、分からない単語などについて調べておくこと。各回のトピックについて身の回りや書籍、インターネット等で情報を集め、グループ活動で話し合うことを日本語でもよいので考えておくこと。(概ね1時間)					
3	Chapter 2 世界の葬式と埋葬文化 Funerals in the world									
4	Chapter 3 世界の成人式 Coming-of-age ceremonies in the world									
5	Chapter 4 世界のトイレ Toilets in the world									
6	Chapter 5 世界のお酒 Alcoholic beverages in the world									
7	Chapter 6 世界の不思議な食べ物 Unusual foods in the world									
8	Chapter 7 世界の神話 Mythologies in the world									
9	Chapter 8 女性の地位 Woman's status in the world									
10	Chapter 9 子どもの遊び Children's recreation in the world									
11	Chapter 10 ユニークなスポーツ Unique sports in the world									
12	Chapter 11 不思議な風習を持つ国 Countries having strange customs									
13	Chapter 12 宗教と言語観と自然観 Religions vary in the world									
14	Chapter 13 左右が文化に与える影響 Is "right" always right?									
15	グループ発表 グループごとに異文化に関する短いプレゼンテーションを英語で行う									グループ発表の準備をしておくこと。(概ね1時間)
教科書	『英語で学ぶ異文化の不思議』石井隆之、岩田雅彦、山口修、平田千夏、Roy Obal、開文社出版									
参考文献	『マンガでおさらい中学英語』フクチマミ、高橋基治、KADOKAWA/中経出版									
備考	授業内課題は次の授業で返却します。模範的なものは氏名を伏せて公開することがあります。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CS-2-SEM-01		
			●	●				
科目名	基礎演習 I				単位認定者	鈴木純子 小野瀬剛志 堀之内敏恵 菅原弘 早坂正年 鈴木享之 田中公一 田宮希砂 中曽根裕 平田修三 山辺未希		授業内課題 70 % 受講態度 30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間	
						授業回数	30 回	
授業の概要	初学者が幼児教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力の養成を行う。大学生活への導入、大学教育の意義と目的に始まり、資料検索等の情報収集の方法、文章の読み方・書き方（文章表現力）、キャリア形成について、学外実習の心得等の内容を取り扱う。学習目的遂行のために設定した課題について、探究的に学習し、課題の解決を目指す。							
到達目標	1 課題を発見し、それについて論理的に考え、解決を図るための基礎的能力を身につける。 2 資料収集、文章構成力、発表力など自主学修を行う上で必要な能力を獲得する。 3 次年度のゼミ学修（基礎演習Ⅱ）に向けて、基礎的な知識や方法を学ぶ。							
学修者への期待等	自主的な学びを中心にした科目ですので、自ら行動することを心がけてください。							
回	授業計画				準備学修			
1	【全体】 前期授業の目的と内容、授業の進行方法							
2	【グループワーク】 コミュニケーションの実践							
3	【全体】 資料収集の方法・レポートの作成方法				図書室の利用方法やパソコンを使った資料検索方法について事前に確認しておく（概ね1時間）			
4	【全体】 施設見学・実習の捉え方について							
5	【全体】 保育系施設の見学に向けてⅠ（施設見学の心得）				施設見学について、特に観察したい点を事前に考えておく（概ね1時間）			
6	【グループワーク】 保育系施設の見学に向けてⅡ（見学目的と計画立案）				事前に課題（見学の目的など）を考えておく（概ね1時間）			
7	【フィールドワーク】 保育系施設見学（保育施設の実際についての理解）				事前に課題（観察のポイントなど）を確認しておく（概ね1時間）			
8	【グループワーク・ディスカッション】 保育系施設見学の振り返り				事前に施設見学の成果を整理しておく（概ね1時間）			
9	【グループワーク・プレゼンテーション】 保育系施設見学の報告書作成				事前に施設見学の成果を整理しておく（概ね1時間）			
10	【全体】 障害系施設の見学に向けてⅠ（施設見学の心得）				施設見学について、特に観察したい点を事前に考えておく（概ね1時間）			
11	【グループワーク】 障害系施設の見学に向けてⅡ（見学目的と計画立案）				事前に課題（見学の目的など）を考えておく（概ね1時間）			
12	【フィールドワーク】 障害系施設見学（障害系施設の実際についての理解）				事前に課題（観察のポイントなど）を確認しておく（概ね1時間）			
13	【グループワーク・ディスカッション】 障害系施設見学の振り返り				事前に施設見学の成果を整理しておく（概ね1時間）			
14	【グループワーク・プレゼンテーション】 障害系施設見学の報告書作成				事前に施設見学の成果を整理しておく（概ね1時間）			
15	【グループワーク・ディスカッション】 前期の振り返り				事前に前期の反省点や課題をまとめておく（概ね1時間）			

回	授業計画	準備学修
16	【全体】 後期授業の目的と内容・レジュメの記入方法	
17	【グループワーク】 課題の設定	興味のある課題や著作について事前に調べておく。 (概ね1時間)
18	【グループワーク】 文献検索	
19	【グループワーク・ディスカッション】 講読演習Ⅰ(指名學生1～2名からの文献報告)	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、 論点などを整理しておく。(概ね1時間)
20	【グループワーク・ディスカッション】 講読演習Ⅱ(指名學生1～2名からの文献報告)	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、 論点などを整理しておく。(概ね1時間)
21	【グループワーク・ディスカッション】 講読演習Ⅲ(指名學生1～2名からの文献報告)	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、 論点などを整理しておく。(概ね1時間)
22	【グループワーク・ディスカッション】 講読演習Ⅳ(指名學生1～2名からの文献報告)	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、 論点などを整理しておく。(概ね1時間)
23	【グループワーク・ディスカッション】 講読演習Ⅴ(指名學生1～2名からの文献報告)	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、 論点などを整理しておく。(概ね1時間)
24	【グループワーク・ディスカッション】 講読演習Ⅵ(指名學生1～2名からの文献報告)	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、 論点などを整理しておく。(概ね1時間)
25	【グループワーク・ディスカッション】 全体を通しての論点の整理	
26	【グループワーク・ディスカッション】 報告書の作成	
27	【全体】 次年度の学修準備Ⅰ(研究領域について)	配布資料を熟読し、次年度にとくに深めていきたい 学修内容を整理しておく。(概ね1時間)
28	【全体】 次年度の学修準備Ⅱ(調べ学修)	
29	【全体】 次年度の学修準備Ⅲ(学修成果について)	
30	【グループワーク・ディスカッション】 今後の学修の方向性を考える	
教科書	「大学1年生のための伝わるレポートの書き方」都築学 著、有斐閣 「福祉施設実習テキストブックー子ども・利用者理解からはじめる実践ー」栗山宜夫・小林徹 編著、建 帛社	
参考文献	各ゼミで適宜選定。	
備考	施設見学、探求の成果発表に関しては、講義の中で提示します。 施設見学および講読演習の報告書などは、内容確認後にフィードバックしますので、自己学修に活用して ください。 各回単位認定者で授業を担当しますが、以下教員の担当回は次の通りです。 鈴木純子：第1, 3, 4, 5, 10, 16, 27, 28, 29回	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

カリキュラム変更に伴う読替対応表（こども学科 令和3年度以前に入学の学生適用）

令和4（2022）年度入学生より、教育課程（カリキュラム）が変更になりましたが、令和3（2021）年度以前に入学した学生は、入学時の旧教育課程に基づき履修することとなります。科目名称や開講時期、対象学年が変更になっている場合がありますので、以下の表を確認してください。なお、不明な点は教員に相談し、特に再履修をする場合は履修間違いのないよう気をつけてください。

※網掛け部分は変更なしの科目です

科目区分	2021年度以前のカリキュラム							2022年度カリキュラム							備考				
	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数	読替対応 授業科目の名称	読替 対象年度	授業 回数	履修年次					単位数			
			1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期					1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期					
教養教育分野	人間と文化	英語Ⅰ	10	○				1	英語Ⅰ	2022	15	○					1	授業回数変更	
		英語Ⅱ	10		○				1	英語Ⅱ	2022	15		○				1	授業回数変更
		日本語表現法	15	○				2	日本語表現法	2022	15	○						1	授業形態（講義→演習）、単位数変更のため、別途開講
		歴史と文化	10		○			1	—	2022	—	—	—	—	—	—	—	—	科目廃止のため、他学科での受講または別途開講
	人間と社会	心理学	10	○				1	—	2022	—	—	—	—	—	—	—	—	科目廃止のため、別途開講
		日本国憲法	15	○				2											
		現代の社会	10	○				1	現代の社会	2022	15	○						2	授業回数、単位数変更
		大学生活論	15		○			1	—	2022	—	—	—	—	—	—	—	—	科目廃止のため、別途開講
	人間と科学	体育基礎	10	○				1	体育基礎	2022	8	○						1	授業回数変更
		体育実技	15		○			1											
		情報処理Ⅰ	15	○				1											
		情報処理Ⅱ	15				○	1											
専門教育分野	幼児基礎教育	幼児と環境	15	○				2											
		幼児と健康	15		○			2	幼児と健康	2022	8		○					1	授業回数、単位数変更のため、別途開講
		幼児と表現	15	○				2											
		幼児と人間関係	15		○			2	幼児と人間関係	2022	8		○					1	授業回数、単位数変更のため、別途開講
	基礎技能	音楽表現Ⅰ	15	○				1											
		音楽表現Ⅱ	15		○			1											
		音楽表現Ⅲ	15			○		1											
		造形表現	15		○			1											
		総合表現演習Ⅰ	15			○		1											
		総合表現演習Ⅱ	15				○	1											
	教育の本質	教職論	15		○			2											
		保育原理	15		○			2											
教育原理		15	○				2												
社会福祉		15	○				2												
のび教育	教育制度論	15	○				2	教育制度論	2022	8	○						1	授業回数、単位数変更のため別途開講	
	子ども家庭福祉	15	○				2												
	社会的養護Ⅰ	15		○			2												
対象理解	子ども理解の理論と方法	15	○				2	子ども理解と理論の方法	2022	15	○					1	授業形態（講義→演習）、単位数変更のため、別途開講		
	生涯発達心理学Ⅰ	15		○			2	生涯発達心理学Ⅰ	2022	15		○				2	授業内容変更のため別途開講		
	生涯発達心理学Ⅱ	15			○		2												
	乳児保育Ⅰ	15			○		2												
	教育心理学	15		○			1	—	2022	—	—	—	—	—	—	—	—	科目廃止のため別途開講	
教育計画及び保育の方法	カリキュラム論	15			○		2												
	保育内容の指導法（総論）	15		○			1	保育内容の指導法（総論）	2022	15	○					1	開講時期変更		
	保育内容の指導法（健康）	15			○		1												
	保育内容の指導法（人間関係）	15			○		1												
	保育内容の指導法（環境）	15		○			1												
	保育内容の指導法（言葉）	15		○			1												
	保育内容の指導法（表現）	15			○		1												
	特別支援教育演習Ⅰ	15		○			1												
	特別支援教育演習Ⅱ	15			○		1												
	乳児保育Ⅱ	15				○	1												
	教育相談	15			○		1												
	教育方法論	15			○		2												
	社会的養護Ⅱ	15				○	1												
	子どもの保健	15		○			2												
	子どもの健康と安全	15			○		1												
家庭支援論	15				○	2													
子どもの食と栄養	30				○	2													
子育て支援	15				○	1													
総括科目	保育・教職実践演習（幼稚園）	15				○	2												
実習	保育実習Ⅰ（保育所）	集中			○		2												
	保育実習Ⅰ（施設）	集中			○		2												
	保育実習指導Ⅰ	15				○	2												
	保育実習Ⅱ	集中				○	2												
	保育実習指導Ⅱ	15				○	1												
	保育実習Ⅲ	集中				○	2												
	保育実習指導Ⅲ	15				○	1												
	教育実習Ⅰ	集中		○			1												
	教育実習指導Ⅰ	10		○			1												
	教育実習Ⅱ	集中			○		3												
教育実習指導Ⅱ	15			○		1													
ナゼ1ミ	基礎演習Ⅰ	30		○			2												
	基礎演習Ⅱ	30				○	2												

総計（卒業要件62単位以上）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CS-1-STC-03				
		●								
科目名	音楽表現Ⅲ				単位認定者	田宮 希砂 山辺 未希		試験（筆記）	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	選択	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	1年次に培った基礎力を土台として、保育者に求められる基礎技能を高め、表現力を身につける。教育実習・保育実習の場で季節や園の生活に即した数多くの音楽教材を扱うために「弾き歌い」のレパートリーを拡充する。									
到達目標	子ども理解を基盤とした音楽表現について実践することができる。									
学修者への期待等	思い切り音を出したり、動いたりできるような服装で来てください。									
回	授業計画				準備学修					
1	オリエンテーション 音楽表現と環境設定				1年次の音楽表現Ⅱで発見した課題に取り組んでおくこと。（1時間以上）					
2	園生活と子どもの歌① 様々なリズムパターンの楽曲に親しみ、弾き歌いをする（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
3	様々な音遊びと子どもの自発的な音遊び支援（実技）									
4	園生活と子どもの歌② こどもの歌や遊びに使われる楽曲の伴奏（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
5	身体表現と音楽（実技・グループワーク）									
6	園生活と子どもの歌③ 弾き歌いにおける声の使い方（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
7	声を使った音楽表現（実技・グループワーク）									
8	園生活と子どもの歌④ 伴奏の工夫や楽曲のアレンジ（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
9	音楽づくり（実技・グループワーク）									
10	園生活と子どもの歌⑤ 保幼小接続を視点にした楽曲（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
11	音楽表現の歴史とその意義									
12	園生活と子どもの歌⑥ 活動内容に合わせた弾き方（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
13	様々な音楽教育法（実技・グループワーク）									
14	園生活と子どもの歌⑦ 弾き歌いのまとめ（実技）				個人指導の振り返りを行い、課題に取り組む。（1時間以上）					
15	まとめ									
教科書	(1)「続こどものうた200」 小林美実編、チャイルド本社 (2)「こどものうた100」 小林美実編、チャイルド本社									
参考文献	随時紹介します。									
備考	田宮希砂、山辺未希、大石祥之、川村智英子、高橋真美、田中美沙、富永睦子、半澤恵子、吉田明香里の9名で授業を行う。課題のうち提出されたものに関しては、内容確認の上次回以降返却する。 ※2022年度は開講時期を通年に変更									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

こども学科 実務経験を有する教員一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
子ども理解の理論と方法	1	鈴木 純子 菅原 弘	幼稚園教諭として現場で勤務。 特別支援学校、特別支援学校、通常の学級にて生徒指導、 特別支援教育コーディネーターとして勤務。
保育内容の指導法(総論)	1	鈴木 純子	幼稚園教諭として現場で勤務。
教育実習指導 I	1	田宮 希砂	幼稚園教諭として現場で勤務。
総合表現演習 I	1	鈴木 純子	幼稚園教諭として現場で勤務。
子育て支援	1	鈴木 純子	幼稚園教諭として現場で勤務。
教育実習指導 II	1	菅原 弘 田宮 希砂	特別支援学校、特別支援学校、通常の学級にて生徒指導、 特別支援教育コーディネーターとして勤務。 幼稚園教諭として現場で勤務。
特別支援教育演習 I	1	菅原 弘	特別支援学校、特別支援学校、通常の学級にて生徒指導、 特別支援教育コーディネーターとして勤務。
特別支援教育演習 II	1	菅原 弘	特別支援学校、特別支援学校、通常の学級にて生徒指導、 特別支援教育コーディネーターとして勤務。
家庭支援論	2	菅原 弘	特別支援学校、特別支援学校、通常の学級にて生徒指導、 特別支援教育コーディネーターとして勤務。
	10	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	